

「安心して相談できる 窓口を目指して」

人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



私たちは、日常生活を送る上でさまざまな問題に直面します。その中で「悩みを聞いてもらいたい」と感じた経験がある人も多いのではないのでしょうか。身近な人に相談しにくい場合は、一人で悩まず、市の相談窓口を利用するなど、誰かに相談することが大切です。

【相談体制の充実に向けて】

市の窓口へ寄せられる相談内容は多様化・複雑化してきています。中には、一つの窓口だけでは解決できないような問題もあります。市民の皆さんから、「どの窓口で相談すればよいかわからない」との声をいただ

くこともあります。

これらの現状を受け、市では、それぞれの相談窓口がネットワークを作り連携を取り合う中で、よりよい相談ができるよう、相談体制の強化を行っています。

また、相談員の資質向上を図るため、弁護士による法律学習会や心理カウンセラーによるカウンセリング技能習得研修を行うなど、市民の皆さんに、安心して相談していただけるよう取り組みを進めています。

【あなたの悩みを相談しませんか】

一人で抱え込まず誰かに相談することは、問題解決への第一歩です。

もし、何か悩みがありましたら、ぜひ相談窓口をご利用ください。



問い合わせ先
人権センター
(☎354-8609 FAX354-8611)

人権相談
(☎354-8610 月～土曜日
9:00～12:00、13:00～16:00)

表紙こぼれ話

今年度の表紙のテーマは、「スポーツで頑張る市民」です。全12回さまざまな種目のスポーツに打ち込む人々をご紹介します。

今回は、3月27日から千葉で開催される全国JOCジュニアオリンピックカップに出場する水球チーム「三重WPスターズ」の高校生チームの皆さんに表紙を飾っていただきました。チームのキャプテン水谷くん、副キャプテン寺本くんとチームを指導する川口監督に大会への意気込みを聞きました。



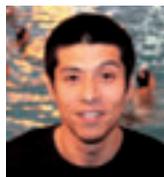
立ち泳ぎしながら決めポーズ

三重WPスターズは三重県選抜の選手で構成された水球チームで、高校生チームは13人の選手のうち、11人が四日市中央工業高等学校の選手です。



水谷光希くん

■水谷くん みんなでパスをつないでゴールしたときが最高です。優勝目指します。



川口智央監督

■寺本くん チームとして勝つことに喜びを感じます。一つ一つ勝って優勝します。



寺本幸平くん

■川口監督 水球人口はまだ少ないです。小学生の競技人口を増やして、水球人口の底辺拡大から取り組みたいです。

取材後記

練習を見て、水球の迫りに圧倒されました。ジュニアオリンピックでは、日頃の厳しい練習の成果を思う存分発揮してください。目指せ！優勝！

問い合わせ先
広報広聴課
(☎354-8244 FAX354-3974)

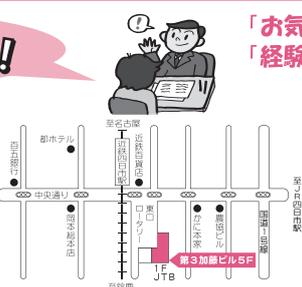
有料広告掲載欄

お困りではありませんか？ 早めのご相談を！

例えば…

- 交通事故・示談の話が進まない…
- 借金・毎月の返済に追われています…
- 相続・兄弟でもめてしまっています…
- 離婚・調停や裁判の対応はどうすれば？
- その他 慰謝料・不動産・会社法務など

近鉄四日市駅から徒歩1分！南改札口(東口)すぐ！
四日市市浜田町5番27号 第3加藤ビル5階
(1階にJTBが入ったビル)



「お気軽にお電話ください」 土曜日や夜間も対応可(要予約)
「経験を積んだ弁護士が迅速＆丁寧に対応します！」

- ◆交通事故・借金問題のご相談は無料です◆
- ◆一般法律相談料(初回) 30分 5,250円(税込)◆

《予約制》☎059-350-2080

尾市法律事務所

弁護士 尾市淳二 (三重弁護士会所属)
(財)日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 313,865人 [1月末日現在(-361)] ■火災件数 6件 [1月分(-4)] ■交通事故件数 1,009件 [1月分]